

環境省告示の総量規制における「特定排出水の窒素及び磷に関する汚染状態の計測方法」に定められた指定計測法による測定ができる紫外・可視分光光度計と分解装置で構成されたセット品です。併せて、濃度規制における排水基準での全窒素・全りん測定を公定法により行うものです。セット品には測定に必要な試薬類が標準付属されています。

● セット構成

● 吸光度式多項目水質測定器 photoLab 7600型	1台
● N・P用分解装置 オートクレーブ	1台
● 試薬・器具 分解びん TN分解剤 TP分解剤 全窒素・全りん測定用試薬	10本 1組 1本 1式



photoLab 7600 型

吸光度式多項目水質測定器  
**photoLab 7600 型**

可視 / 紫外の波長領域を使用し、最大約 150 種類以上の水質測定項目の分析ソフトが事前にプログラムされているため、誰でも迅速に高精度の測定ができます。窒素・りん以外の各測定項目の試薬は別売。

◆ 仕様

測定方式	吸光度法	測定波長	190 ~ 1100nm
測定原理	全窒素 : 紫外吸光度法 (JIS K0102 45.2)	測定モード	濃度、吸光度、透過率
全りん	: ペルオキシニ硫酸カリウム分解法 (JIS K0102 46.3.1)	電 源	ユニバーサル電源対応
定量範囲	全窒素 : 5 ~ 50µg-N 全りん : 1.25 ~ 25µg-P	寸 法	404 × 314 × 197mm (W × D × H)
		質 量	約 4.5kg

※「定量範囲」は公定法の表記です。

◆ 関連機器

自動全窒素・全リン測定装置  
TPNA-300 型



自動 COD 測定装置  
CODA-500 型



有機汚濁濃度計 (UV 計)  
OPSA-150 型



※記載の製品に関しては、改良のため予告なく仕様変更する場合がありますのでご了承下さい。

WTW社輸入総代理店



**セントラル科学株式会社**

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-1-3東京富山会館ビル TEL 03(3812)9186(代)

FAX 03(3814)7538

大 阪 支 店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-6-18新大阪和幸ビル TEL 06(6392)1978(代)

URL <https://aqua-ckc.jp/>

販売店



161100TM

簡易型全窒素・全りん計



セントラル科学株式会社

# 簡易型全窒素・全りん計 TNP-7100 型

1日の排水量が50m<sup>3</sup>以上～400m<sup>3</sup>未満の工場・事業所の排水中の全窒素・全りんを簡易・迅速に分解・測定できるN・P用分解装置と吸光度方式の水質測定器で構成された水質総量規制対応のセット機器です。N・P用分解剤と専用試薬が標準付属されています。

## 特長

- 測定に必要な「窒素・りん」の分析ソフト(検量線)がプログラム済み。
- 測定試薬が用意されています。
- 検量線の作成、試薬の調製は不要のため、測定作業が大幅にスピードアップ。
- 窒素・りんの他に約150種類の項目の測定が可能。
- データメモリー機能付
- 廉価なTNP-A型に比べ、検出限界、測定精度ともすぐれた高精度の機器です。

## 吸光度式多項目水質測定器 photoLab 7100 型

水質分析に必要な最大約150種類の分析ソフトが事前にプログラム済みの分光光度計です。検量線の作成不要、校正のための標準液不要、試薬の調製不要、自動波長選択機能、USB出力付。窒素・りん以外の各測定項目の試薬は別売。

### 仕様

測定方式	吸光度法	測定範囲	全窒素：0～25.0mg/L N 全りん：0.05～5.00mg/L P
測定原理	全窒素：アルカリ性ペルオキシニ硫酸カリウム分解-クロモトロボ酸法 全りん：ペルオキシニ硫酸カリウム分解-モリブデン青法	測定精度	全窒素：±0.50mg/L 全りん：±0.04mg/L
		電源	ユニバーサル電源対応
		寸法	404×314×197mm (W×D×H)
		質量	約4.5kg

## N・P用分解装置 リアクター CR3200 型

コンパクトなリアクターは、全窒素、全りんの分解はもとより、COD測定にも利用できます。一度に24検体の分解ができるので作業効率が上がります。

### 仕様

温度調節範囲	25～170℃	電源	AC100～240V 50/60Hz
分解検体数	24検体(標準)	寸法	245×292×180mm (W×D×H)
タイマー	0～180分	質量	約3.6kg



photoLab 7100 型



リアクター

### セット構成

● 吸光度式多項目水質測定器 photoLab 7100型	1台
● N・P用分解装置 リアクター CR3200型	1台
● 試薬・器具 全窒素用試薬 全りん用試薬 ポリエチレンローテ 試験管立(SUS)	1組 1組 1個 1個

※リアクターは、上記以外に次の種類からお選びいただけます。

リアクター-CR2200型 分解サンプル数 12検体

リアクター-CR4200型 分解サンプル数 24検体 (12サンプルずつの個別分解可能)

# 簡易型全窒素・全りん計 TNP-A 型

一度に24検体を分解できるリアクターと吸光度方式の水質測定器で構成されたセット品です。N・P用分解剤と専用試薬が標準付属されています。

## 特長

- 測定に必要な「窒素・りん」の分析ソフト(検量線)がプログラム済み。
- 測定用試薬が用意されています。
- 検量線の作成、試薬の調製は不要のため、測定作業が大幅にスピードアップ。
- 窒素・りんの他に約130種類以上の水質測定が可能。



pHotoFlex STD 型



リアクター

## 携帯用水質測定器 pHotoFlex STD 型

約130種類の水質測定項目分析ソフトが事前にプログラムされており、現場に持ち運び、簡単に高精度の測定ができます。窒素・りん以外の各測定項目の試薬は別売。

### 仕様

測定方式	吸光度法	測定範囲	全窒素：0.5～25.0mg/L N 全りん：0.05～3.00mg/L P
測定原理	全窒素：アルカリ性ペルオキシニ硫酸カリウム分解-クロモトロボ酸法 全りん：ペルオキシニ硫酸カリウム分解-モリブデン青法	測定精度	全窒素：±0.50mg/L 全りん：±0.04mg/L
		電源	単三アルカリ電池×4本
		寸法	86×236×117mm (W×D×H)
		質量	約0.6kg

## N・P用分解装置 リアクター CR3200 型

コンパクトなリアクターは、全窒素、全りんの分解はもとより、COD測定にも利用できます。一度に24検体の分解ができるので作業効率が上がります。

### 仕様

温度調節範囲	25～170℃	電源	AC100～240V 50/60Hz
分解検体数	24検体(標準)	寸法	245×292×180mm (W×D×H)
タイマー	0～180分	質量	約3.6kg

### セット構成

● 携帯用水質測定器 pHotoFlex STD型	1台
● N・P用分解装置 リアクター CR3200型	1台
● 試薬・器具 全窒素用試薬 全りん用試薬 ポリエチレンローテ 試験管立(SUS)	1組 1組 1個 1個

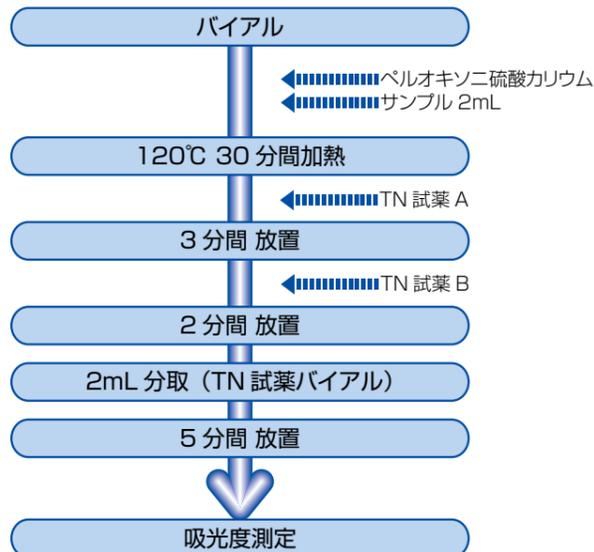
※リアクターは、上記以外に次の種類からお選びいただけます。

リアクター-CR2200型 分解サンプル数 12検体

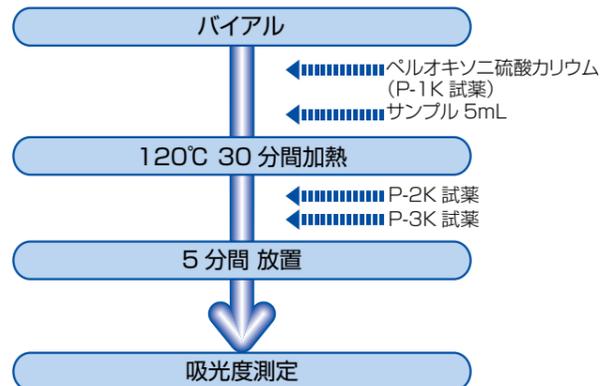
リアクター-CR4200型 分解サンプル数 24検体 (12サンプルずつの個別分解可能)

## 簡易型全窒素・全りん計 測定フロー

### 全窒素



### 全りん



## 窒素含有量及びりん含有量に係る汚濁負荷量の測定方法と測定頻度

排水量の区分 (m <sup>3</sup> /日)	水質の計測法	測定の頻度
400以上	※別記1 (1)または(2)	毎日
200以上～400未満	※別記1 (1)～(4)のいずれかの方法	1回以上/7日
100以上～200未満		1回以上/14日
50以上～100未満		1回以上/30日

別記1 (汚染状態の計測方法)

(1) 自動計測器により計測する方法

(2) コンポジットサンプラーにより採水し、指定計測法で計測する方法

(3) 指定計測法により計測する方法((2)の方法を除く。)

(4) 簡易な計測方法((1)の方法を除く。)